令和3年度の森林環境譲与税の用途について

大月町産業振興課

1 森林環境譲与税の活用の効果

(1) 森林経営意向調査の実施

・会計年度任用職員1名を雇用し、森林経営意向調査を実施した。返信のなかった森林所有者に対しては再度の通知を行い、返信を促した。返信内容の集計結果は、森林環境譲与税を活用し導入した独自システムへ蓄積し、見える化するにより今後の森林経営管理制度事業の実施へと繋げていく。

(2) ウバメガシモデル林の造成

・大月町有林へウバメガシのモデル林を造成した。ウバメガシは町木にも指定され、備長炭の原木となり町内へ広く自生しているが、生育地の多くは海岸近くで、崖など地形の制限や国立公園など法規制があり伐採が可能な箇所は限られている。また県東部との競合により原木の枯渇が懸念されており、原木供給体制が急務となっている。永続的にウバメガシの安定供給を行うための資源の確保拡大、ウバメガシ再造林の施業技術の確立を図る。

2 森林環境譲与税の用途の内容

(1) 歳入

単位：千円

区分	金額
森林環境譲与税	9,991
計	9,991

(2) 歳出（用途内訳）

単位：千円

事業名	事業費			事業内容	事業実績
	総額	財源内訳			
		R3森林環境譲与税	他の財源		
森林経営管理制度事業	2,231	2,231	0	R1.2年度に導入した森林情報システムを活用し、会計年度任用職員1名を配置して、森林経営意向調査を実施	鉾土地区：56名132筆 47.8ha 春遠地区：60名111筆 55.4ha 2地区計：116名243筆103.2haの意向調査を実施
ウバメガシ再造林事業	3,274	3,173	101	備長炭の原木となるウバメガシの施業技術の確立を目的に、町有林へウバメガシモデル林を造成	皆伐：0.38ha 作業道開設：1式 地拵え：0.27ha 植栽：0.21ha
基金積立（森林環境整備基金）	4,587	4,587		次年度以降の森林経営管理制度関連事業に必要な財源として基金への積み立て	
計	10,092	9,991			